

ご存知ですか？

ワシントン条約！

ワシントン条約は、野生動植物の国際取引を規制して、絶滅のおそれのある野生動植物を保護することを目的とした条約で、正式名称は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」といいます。英語の頭文字を取って、CITES（サイテス）、別名「ワシントン条約」と呼ばれています。日本をはじめ140を超える諸国が加盟しており、外国でもワシントン・コンベンションまたはサイテス（CITES）と呼ばれています。

条約では、特定の種を附属書、に指定して、商業取引を禁止、あるいは規制しています。

我が国も、この条約に基づいて動植物（これらを使用した製品・加工品を含む）の持ち込みを厳しく規制しています。



ヒョウの敷物



ウミガメ（全種）



象牙



ワニ革製のハンドバッグ



沖縄管内における事例

入国の際、輸出許可書（サイテス）を取得ていないが、たまたま任意放棄されたもの、ニシキヘビの皮、麝香・虎骨・熊胆等が含まれた漢方薬、ワニ革製の財布・バッグ、ランの苗、ドラゴンフルーツの苗、グリーンイグアナ等



ワシントン条約の内容

附属書	区分	規制内容	輸入するために必要な書類	対象種
I	絶滅のおそれのある動植物で国際取引による影響を受けているか又は受けることのある種	・商業目的の国際取引は禁止。 ・人工繁殖されたもの、条約適用前に取得されたものは商業取引が可能。 ・学術研究目的の取引は可能。	・輸出国の管理当局が発行する輸出許可書（CITES） ・通商産業大臣が発給する輸入承認証 ・その他	ゴリラ、チンパンジー、オランウータン、トラ、ヒョウ、インドゾウ、コウモリ、オシロワシ、ウミガメ、タイマイ、アジアアロワナ、オオカミ、ラン（一部）、ボア（一部）、ワニ（一部）
II	現在は必ずしも絶滅のおそれがある動植物ではないが、国際取引を規制しなければ絶滅のおそれが生じる種	・商業目的の国際取引は可能。	・輸出国の管理当局が発行する輸出許可書（CITES） ・通商産業大臣が発給する事前確認書（生きている動物） ・その他	オウム、サンゴ、ライオン、サボテン、ラン、シクラメン、シャコガイ、コブラ、ボア、ワニ、オオコウモリ等
III	締結国が自国の管轄内の動植物の保護のために国内規制措置に加えて他の締結国の協力を必要とする種	・商業目的の国際取引は可能。	・輸出国の管理当局が発行する輸出許可書（CITES） ・通商産業大臣が発給する事前確認書（生きている動物） ・その他	ベンガルギツネ（インド）、オコジロ（インド）、セイウチ（カナダ）、コサギ（ガーナ）等

日本への持ち込みが規制されているもの（代表例）

生きている動植物	サル（全種）	スローロリス、カニクイザル、チンパンジー等
	オウム（全種）	オウム、インコ類（セキセイインコ、オカメインコを除く）
	植物	ラン全種、サボテン全種、ソテツ全種等
	その他	ワシ、タカ、リクガメ、カメレオン、オオサンショウウオ、アジアアロワナ等
加工品・製品	毛皮、敷物	トラ、ヒョウ等のネコ科の動物、オオカミ、クマ（一部）、シマウマ（一部）等
	ハンドバッグ、ベルト、財布等	ワニ、ウミガメ、ヘビ（一部）、トカゲ（一部）、ダチョウ（一部）等
	象牙・同製品	インドゾウ、アフリカゾウ
	はく製	ワシ、タカ、ワニ、ゴクラクチョウ、センザンコウ（一部）等
	その他	シャコガイの製品、クジャクの羽、オウムの羽飾り、サンゴの製品（一部）、「じゃこう」を含有する薬等

国外へ持ち出す場合も、相手国輸入国（から日本輸出）の輸出許可書（サイテス）を要求されることがありますので、日本から出国する前に取得しておく必要があります。

国外へ持ち出すにも！

国内に持ち込むためには？

ワシントン条約で規制している動植物（これらを使用した製品・加工品を含む）を国内に持ち込むためには、条約で定めた機関の発行する書類（輸出国の輸出許可書や通産省の輸入承認証等）が必要です。なお、条約の附属書及びに属する生きた動物を輸入する場合には、事前に通商産業大臣の確認を受ける必要があります。

詳しく知りたい場合は

沖縄総合事務局通商産業部

商務通商課通商係

○九八・八六四・二三三二

沖縄地区税関税関相談官

○九八・八六三・〇〇九九